

学校法人 開新学園  
令和5年度 開新高等学校評価

1、教育方針

「独立・進取・敬愛・奉仕」の建学の精神を継承し、自主独立・互尊協和・誠実勤勉の3綱領を掲げ、一技一能を身に付けた礼儀正しく、人間性豊かな、心身共にたくましい人材を育成する。

2、本年度の教育重点目標

- 魅力ある学校づくり
- 保護者との連携・積極的な家庭訪問
- 健全な心身の育成
- 保護者との連携
- 地域連携

評価項目		評価の観点 重点目標	課題と評価	今後の改善点
大項目	小項目			
学校経営	学力の充実・わかりやすい授業	・朝からの自学自習やわかりやすい授業を通じて、基礎学力の充実を図る ・生徒の個性・特性に応じた指導に努める ・生徒の様々な希望進路に対応できる学力の充実	・授業がわかりづらいつ感じている子どもが約3割いる。 ・進路を見据えた学習は出来ていると感じている保護者や子どもたちが多いため、今後も続けていかなければならない。	・より分かりやすい授業を展開していくため、工夫を凝らした教材研究が必要である。教材/教授法の蓄積を進める。 ・朝自学習にクラスの温度差があるので、もっと徹底する。 ・教員としてのプロフェッショナル意識をもっと高める。
	ICTを活用した教育の研究・実践	・タブレットを使用した授業方法の習熟・研究 ・ICT機器等を用いた授業方法や教材の研究	・ICTを活用した授業が以前に比べ増えたと感じている子どもたちや保護者は増えている。しかし、教員側がタブレットをまだ活用し切れていないと感じている。	・タブレットを活用するために開発した教材の共有する。 ・よく活用する先生方による実践事例を紹介してもらう。
	時代の流れに即した学校改革	・18歳成人に伴い、成人として必要な知識・責任・モラル等を3年生を中心に身に付けさせる ・本校で学ぶ意義、生徒一人一人に将来の目標を考えさせることによって、安易な退学や進路変更を思いとどまらせ、退学者の減少に繋げていく ・時代の変化に対応した校則の研究 ・ICT機器等を用いた職員の事務作業の負担軽減	・18歳成人に向けてまだ半数ほどの生徒や保護者にその意識があまりないとの回答であった。 ・校則の見直し、理解について保護者や生徒は時代に即して変化すべきと言う意見が多かったが、職員半数は変化していると捉えており、双方の意見に隔たりがあることが解った。 ・ICTを活用し効率よく業務が出来ていると感じている職員が7割弱となっている。しかし、生徒の意見としては職員と話す時間が増えたと感じている生徒は6割ほどで、保護者ももっと連絡事項等にICTを活用した方がよいという意見が大半であった。	・社会に出る前の最終的な教育の場であるという認識を持って指導に当たる。 ・時代に即した校則の見直しをしていくためにはどのようにすればよいか考えていく必要がある。 ・ICTを活用し、業務の軽減化、働き方改革、生徒に接する時間の確保をもっとしていく必要がある。
	進路指導の徹底	・多種多様な職業科を有する県内唯一の私立高校として、その特性を生かして生徒の希望する進路の実現に努める ・企業見学や外部講師による講演を積極的に行う等、キャリア教育の充実を努め、生徒が早い段階で自らの進路目標を見つける事ができるようにする	・本校の特徴である、専門性の学習が出来ていると感じている生徒、保護者、職員がいずれも7割を超えている。 ・本年度から開始した校内進路講話などを通し、将来の生活や仕事に対するイメージをしっかりと持てるようになった子どもたちも7割ほどである。	・本校の特色である工業、総合学科、普通科のそれぞれの特徴を活かしつつ、それぞれの学科の枠を超えた教育活動を行っていく手立てを考える。 ・進学した卒業生や各種企業に勤める卒業生の講話、昨年度から開始した校内進路講話などを通し、自分の未来像を確立させる。
学力向上	指導力の向上	・教員が自らの資質向上を図り、わかりやすい授業づくりを行うための教材研究や自己研鑽に努める。 ・個々の生徒に応じた学習指導を心掛ける。 ・ICT教育の充実を図り、魅力的授業を展開し、知識・技能の向上に努める。	・放課後の時間を利用して個別学習をすることができていた。 ・ICTを生かした授業に取り組み、生徒達の学習への取り組みも変化した。 ・教材研究の時間をしっかりと確保したい。	・各科においてICTを利用した授業のやり方を充実させ共有していく。 ・教科ごとの授業見学を増やし、研修を行う。
	基礎学力の定着	・朝学習や宿題などを活用し、基礎学力の定着を図るように日々指導する。 ・家庭学習の習慣を身につけるように促す。 ・必要に応じて個別の学習指導や添削を行う。	・担任の先生方の協力で10分間を有効に使った朝自習ができた。 ・家庭学習の習慣化は難しいものがあった。	・時間通りに登校するよう徹底させ、朝自習をさらに意味のあるものにした。 ・各教科を通じて家庭学習への意識付けや取り組みを行う。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	・心を込めて挨拶のできる生徒を育成する。教師から先ず挨拶を行う ・校内外のルールを守り、服装・頭髪に気を配り、自分らしさを表現できる生徒の育成	女子のスカートの指導が徹底できていない所が課題になりますが、まず生徒部の先生方で指導し、全職員で声かけができるようになったらと思います。	女子の制服を今後変更できないかと、生徒部で話しになりました。ご検討宜しくお願い致します。
	命を尊び、心身共に健康な人材の育成	・交通ルールの遵守、交通モラルの確立を図る ・他者を理解し思いやるとともに、自分を高め充実した校内生活を送らせる ・生徒指導について、生徒の人権に配慮し、生徒の内面と向かい合いながら自分を見つめなおす機会を持たせる ・自己管理能力の育成（情報モラルの高揚、貴重品の管理）	まだまだ一人一人の交通モラルの意識が足りない所がありますが、朝の登校指導などできめ細やかに指導していきたいと思えます。また、貴重品の自己管理等も併せて行っていきます。	生徒部だけではなく、全先生方で取り組むことが大事だと思います。
	自主的に行動できる意欲ある生徒の育成	・朝の清掃活動及び校内の美化に積極的に取り組み、施設・設備を大切に扱う心を育てる ・地域の清掃活動等を通して奉仕の心を育てる	限定された部活動が、朝、休日等に清掃活動を行って頂いており、感謝しております。清掃を通して心の教育を行っていきます。	全生徒、全職員で取り組む時間が取れるといいのかなと感じます。
進路指導	進路に関する意識の向上	・LHRや総合的な探究の時間の活用および進路講話や各種セミナー等、年度末の校内進路ガイダンスに繋がる計画的な取り組みを行う	学年団と連携した取り組みが、さらに必要であると思う	クラスや学年単位での統一した指導も充実していく
	進路情報の提供	・学年団と進路指導部の連携を深め、生徒情報の共有およびClassroom『進路のお部屋』等の活用による進路情報の共有を図る	生徒にはできたと思うが保護者に伝わっていない部分があったようである	保護者に向けた情報提供をより強化する
	進路相談の充実と環境整備	・進路指導室の機能と指導環境の整備を図り、生徒・保護者・教職員の相談に対応できる態勢を整える	相談に来た生徒・保護者への対応はできていたと思う	保護者も含め、対応力をさらに強化する
特別活動	・学校行事の充実	・開新競技大会やクラスマッチ等、充実した内容になるよう綿密な計画及び準備を行い、生徒の良さ思い出となるような行事を1つでも多く実施する	概ねどの行事も生徒及び教職員の評価は高かった。特に開新競技大会は5年ぶりの終日かつ有観客開催で、来場者の反応も上々だった。	開新競技大会と開新祭の毎年開催というニーズが高まっている。負担は増えるかもしれないが、生徒目線で考えればその価値はあると思われる。関係部署だけではなく全職員で検討したい。
	・クラブ活動の充実	・感染予防に努めつつ、生徒の健全な心身の育成を目指す ・クラブ活動の推進を図る ・クラブ活動と学業の両立を図る	新型コロナウイルスの5類移行により、どのクラブも年間を通して活発な活動を行うことができた。また、学業との両立に努め、クラスで成績上位を維持するクラブ生も多く見られた。	例年6割弱に留まっているクラブ加入率を、せめて7割に引き上げたい。
	・生徒会活動の充実	・校内および校外活動(ボランティア等)を充実させる ・各委員会の活性化を図る	募金活動や子ども食堂での調理・提供、高校生フェスティバルへの出展など、積極的に参加することができた。委員会活動は今年度も温度差が見られた。	ボランティアは現在生徒会が中心で参加しているので、全校生徒にも案内し参加を促したい。
健康・安全管理	・健康教育の推進	・心身のバランスをとり、健康で衛生的な生活習慣の推進を図る	・生活習慣や心身の健康についての様々な情報を伝え自ら	・生徒自身が心身の健康への関心を高めるように、掲示板や通
	・教育環境の整備	・学校内外の環境美化の推進と安全な教育環境整備に努め、事故・けがを防止する	・安全点検を実施しながら事務部と連携し、校内の破損箇所、危険箇所の修理等に繋げることができた。	・さらに安全・美化の推進に努める
	・教育相談	・面接を通して、生徒の実態把握に取り組み、担任や養護教諭と連携を図る。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒や保護者の悩みや相談に適切に対応する	・生徒についての実態把握・共通理解に関しては担任や保護	・カウンセリング利用に関して、さらに保護者や担任への周知を